

食を通じてコミュニケーションをとろう！ 事業実施主体：一般社団法人天理文化の会(奈良県)

- 高齢者の一人暮らし、ひとり親世帯、貧困の状況にある子ども等が増えるなど、社会環境の変化により、食事を囲んでコミュニケーションを図ることが難しい状況であるとともに、孤食(1人で食事をとること)や個食(一緒に食卓を囲んでいる人と、別々の料理を食べること)といった課題がある。
- これらの課題を解決するために、子ども食堂での共食の機会の提供や食文化の保護・継承のための調理体験など、食に対する関心を高める取組を実施した。



【取組の内容】

- 子ども食堂開催と食文化の体験
新型コロナウイルス感染症の流行状況を勘案し、イートイン形式に加え、お弁当の配布も併せて実施。食生活や県産食材についての理解を深めるためのチラシなどを作成し、配布した。
また、食文化の保護・継承のための調理体験などを通じ、食への関心を高めた。
- 実施概要(子ども食堂開催)
対 象 者： 18歳までの子どもと、その保護者、地域の方
開催回数： 令和5年11月～令和6年3月 計6回
参加者数： 延べ 987人
実施場所： 丹波市会館放課後子ども教室ひなた内



子ども食堂の開催

【取組の成果】

- 子ども食堂を開催し、共食の場を提供することにより、地域のコミュニケーションを図ることができ、孤独・孤立対策につながった。
- 調理、配膳、片付けには、できる範囲で子どもたちも参加することにより、食や地元食材への理解を深めることができた。
- 調理体験教室は、調理体験に加えクイズなどを交えながら実施し、食文化の理解を深めることができた。

【事業の目標】

- ① 地域等で共食したいと思う人が共食する割合を増やす。
事業実施前 36.9%
→事業実施後 100.0%
- ② 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民を増やす。
事業実施前 69.8%
→事業実施後 90.1%

